

印西市立図書館サービス計画進行管理について（案）

基本方針1 市民の「知りたい」「学びたい」「調べたい」を支える図書館サービス

1 基本的な図書館サービス

（1）資料収集・蔵書構成

主な取組み	取組の内容	今後取り組むこと	旧サービス 評価指標	指標	目標値（R10）
読書・調査研究活動に必要な資料の収集	市民の読書、調査研究活動を支援するため「資料収集要領」「資料選定基準」に基づき必要な資料を収集します。幅広い情報を収集し、蔵書構成の充実を図ります。	幅広い分野の情報提供ができるよう、買い替えなども含め適切な資料収集を推進し、図書館資料の充実に努めます。	区分1	図書資料受入点数	15,000点☒
6館それぞれの利用状況に合わせた蔵書構成	各図書館の地域の特性や利用状況に合わせた資料収集方針を年度ごとに作成して蔵書を構成します。	各図書館の地域の特性や利用状況に合わせた蔵書構成の充実を図ります。 各図書館の地域の特性や利用状況に合わせたレファレンスサービスの充実を図ります。 問題解決サービス（健康・医療事情・ビジネス支援・法情報）の充実を図ります。			
地域資料の収集	印西市を中心とした隣接地域及び千葉県内を範囲として収集を行います。 印西市に関するものは、郷土資料・行政資料とも積極的に収集します。 印西市域以外については、概説的なものや特徴的なものを中心に収集します。 必要に応じてデジタル化を検討します。	積極的に印西市を中心とした地域資料を収集・保存し提供します。 講座やホームページなどで情報提供することで市民の活動の発展につなげます。 必要に応じて資料のデジタル化を推進します。	区分4	受入冊数	（R7目標） 600冊/年

（2）貸出・予約サービス

主な取組み	取組の内容	今後取り組むこと	旧サービス 評価指標	指標	目標値（R10）
資料の貸出しの利便性の向上	各世代の利用者の学習、調査研究などに役立つ資料を提供します。	利用が少ない世代に対して利用を促進する手法を検討します。 利用者の利便性の向上と運営の効率化を図るため、ＩＣタグを活用した自動貸出・返却機の導入の検討。	区分2	市内登録者数 個人貸出点数 個人貸出者数	34,000人/年 855,000点/年 （R7目標） 270,000人/年
予約サービスの向上	図書館窓口や電話での受付、図書館ホームページでパスワードを使用した所蔵資料の予約を実施します。	非来館でのパスワード発行及びウェブでの未所蔵資料のリクエスト受付方法を検討し、実施を目指します。	区分2	資料予約件数	160,000件/年

（3）レファレンスサービス

主な取組み	取組の内容	今後取り組むこと	旧サービス 評価指標	指標	目標値（R10）
レファレンスサービスの利用促進	利用を促進するためレファレンスサービスの広報を実施します。	広報誌や図書館ホームページへ掲載。	区分3	レファレンス件数	25,400件/年
レファレンスサービスの質の向上	研修などにより職員のスキルアップを図ります。 図書館で回答が難しい質問は県立図書館などへの依頼・紹介で対応を図ります。	利用者への知りたいという要望に応えられるよう研修への参加や自己研鑽を促進し、職員間の情報共有を図ります。	区分8		
レファレンス事例集の公開	レファレンス事例集を公開します。 レファレンス事例集の公開	レファレンス事例の公開を更新していきます。 パスファインダーを作成します。	区分3		

2「本と出合う」「本と親しむ」機会作り

(1) 資料展示

主な取組み	取組の内容	今後取り組むこと	旧サービス 評価指標	指標	目標値（R10）
資料展示の実施	図書館の利用を促進するため資料展示を実施します。	展示資料のリストの作成及び図書館ホームページでの公開を実施します。 展示内容の充実のほか、市の関係機関と連携した展示を継続実施します。			

(2) 図書館事業の開催

主な取組み	取組の内容	今後取り組むこと	旧サービス 評価指標	指標	目標値（R10）
講座・企画事業の実施	子どもたちや一般成人の図書館への興味や読書推進につながるような事業や講座を実施します。	職員のスキルアップやボランティアとの協働など市民や利用者のニーズを把握した新しい事業の実施を推進します。 行政各部署や関係機関と連携し共催事業を行います。 郷土資料や地域資料について、講座や図書館ホームページで情報提供することで市民の活動の発展につなげます。			
本と出合う・本とし親しむ機会の提供	小倉台図書館では、職員と利用者からのおすすめ本を紹介する「図書紹介コーナー」を設置しています。 大森図書館では「大人のためのブックリスト」を年1回発行しています。	利用者参加の本の紹介コーナーの拡大・充実を図ります。 紹介した資料を図書館ホームページなどにも掲載するなど利用促進を図ります。	区分2		

(3) 情報提供及び利用者促進

主な取組み	取組の内容	今後取り組むこと	旧サービス 評価指標	指標	目標値（R10）
図書館ホームページの充実	図書館ホームページの内容の充実を図ります。 検索機能の向上及び表示項目など最新情報の掲載に努めます。	図書館に対する関心を高め、利用者の拡大を図る取組として、SNSを活用した情報発信、資料案内を行います。	区分2	ホームページへの アクセス件数	(R7目標) 1,300,000件/年
刊行物の発行・送信	利用案内を発行します。 転入者への利用案内を配布します。 図書館で行っている事業などの情報を掲載した「としょかんつうしん」を発行します。	印刷物以外の媒体による公開の検討を行い、SNSの活用を含めた刊行物の発行を図ります。 刊行物を継続して発行できるよう職員のスキルアップを図ります。	区分2	「としょかんつうしん」 の発行	(R7目標) 6回/年

(4) ブックリスト

主な取組み	取組の内容	今後取り組むこと	旧サービス 評価指標	指標	目標値（R10）
ブックリストの作成	「えほんのくに」、小学生向けに「ほんのタネ」、中学生向けに「Book de Go!」などのブックリストを作成・配布します。	子どもが新しい本に出合えるようブックリストの内容の充実を図ります。 より多くの本に触れる機会を作るため、発行回数の増加に努めます。 将来の図書館DXの推進に合わせたブックリストのビジュアル化を検討します。	区分2	「えほんのくに」 「ほんのタネ」 「Book de Go!」	(R7目標) 年3回 年1回 年1回

3 多様な利用者に対応した図書館サービス

(1) 高齢者を対象とした図書館サービス

主な取組み	取組の内容	今後取り組むこと	旧サービス 評価指標	指標	目標値（R10）
高齢者の読書活動の推進	高齢者層が読みやすい大活字本、朗読CDなどを収集します。 拡大読書器などの読書支援機器を整備します。 自宅などでの受け取りを希望する利用者への配送サービスを実施します。	大活字本・朗読CDなどの資料を収集し充実を図ります。 拡大読書器などの読書支援機器の整備を推進します。 来館が困難な利用者へのサービスを実施できる体制などを整備します。	区分7	大活字本の受入冊数	(R7目標) 30冊/年

（２）図書館利用が困難な方へのサービス

主な取組み	取組の内容	今後取り組むこと	旧サービス 評価指標	指標	目標値（Ｒ１０）
障がい者サービスの広報	広報や図書館ホームページなどで対面朗読・宅配・録音資料の郵送等、障がい者サービスについて積極的に周知するとともに、利用者の拡大を図ります。 関係機関と連携しながら、利用者の要望の聴取に努めます。	広報や図書館ホームページなどで障がい者サービスについて周知を積極的に行い、それぞれのニーズにあったサービスが提供できる環境を整備します。	区分 7	障がい者サービスの 広報・ホームページへの 掲載	
職員のスキルアップ	具体的な取組を実現していくために職員のスキルアップを図ります。	千葉県や千葉県公共図書館協会などで実施している研修へ職員の積極的な参加を促進し、一人一人のスキルアップを図ります。 福祉関係機関などが実施する研修への参加により、障がい者及び障がいへの理解を深め、対象となる利用者に対し、適切な窓口対応やサービスを提供できるように努めます。	区分 7 区分 8	職員研修等への参加	
ボランティアの育成	対面朗読ができるボランティアの登録を実施します。	ボランティアの研修などを定期的に行い、利用者の要望に応えられるよう体制を整備します。	区分 7 区分 8		
環境の整備及び資料の収集・充実	対面朗読室、拡大読書器（大森）、プレクストークなどを整備します。「宅配サービス実施要領」「録音資料郵送貸出実施要領」などを作成し要望に応えられるよう体制を整備します。 大活字本やＬＬブックや朗読ＣＤなどの資料の収集・充実に努めます。	大活字本やＬＬブック、朗読ＣＤなどの資料を収集し充実を図るとともに、様々な要望に応えられるような体制の整備を図ります。	区分 7	大活字本の受入冊数	（Ｒ7目標） 3 0 冊/年
図書館窓口の設置	図書館以外での図書館資料の受取及び返却場所の増設についての検討を行います。	利用者の利便性の向上のため、図書館資料の受取及び返却場所の増設について検討します。 近くに図書館資料の受取及び返却ができる施設がない地域へ移動図書館の導入を検討します。	区分 9		

（３）多文化サービス

主な取組み	取組の内容	今後取り組むこと	旧サービス 評価指標	指標	目標値（Ｒ１０）
外国語資料の収集・充実	外国人利用者のための外国語資料の充実を図ります。	英語資料だけでなく多言語の資料の収集・充実を図ります。 資料選定のため、職員のスキルアップを図ります。			
日本語学習資料の収集	日本で学び生活をする外国人向けの、日本語学習資料や生活に役立つ資料を収集するとともに、情報の提供を行います。	日本語を学びたい外国人のニーズに対応し、日本語学習資料や生活に役立つ資料の充実を図ります。 「利用案内」や「としょかんつうしん」など、図書館で作成している案内の多言語化や外国語を習得している職員の配置などにより、外国人にとってより使いやすいサービスの提供を目指します。 翻訳アプリなどの活用により、各図書館での対応に格差が生じないような工夫を行います。			

4 デジタル化への対応～非来館型サービスの充実

(1) 電子図書館の推進

主な取組み	取組の内容	今後取り組むこと	旧サービス 評価指標	指標	目標値（R10）
電子書籍の充実	継続的な電子書籍の選定と提供を行います。	子どもから大人まで幅広い世代に認知・利用してもらえるよう、各利用者のニーズにあった電子書籍を収集します。	区分1 区分2	電子書籍受入点数 電子書籍貸出点数	500点/年 1,500点/年
利用の拡充	電子図書館の周知を図り、より多くの利用者に電子書籍の利用を促進します。	図書館ホームページなどで電子図書館の認知を図り、認知度の向上と利用促進を図ります。 電子雑誌など、図書に限らない資料の導入と提供を検討します。 音楽配信など、文字媒体に限らない資料の導入と提供を検討します。	区分2		

(2) 図書館ホームページの充実と利用促進

主な取組み	取組の内容	今後取り組むこと	旧サービス 評価指標	指標	目標値（R10）
図書館ホームページの充実	図書館からのお知らせなど、利用者に必要な情報を継続して更新します。 図書館ホームページについて、継続して利用しやすいデザインや操作性の向上に努めます。	継続的な情報更新に努めます。 利用者からの要望などを踏まえ、デザインや操作性を改善していきます。	区分2	ホームページへの アクセス件数	(R7目標) 1,300,000件/年
SNSを活用した情報提供	SNSを活用した広報活動を行います。	SNSを導入し、有効的な広報活動の方法を検討します。			
Web-OPACの機能の充実	Web-OPACの機能の充実を図り、継続して利便性の向上に努めます。	Web-OPACの充実及び利便性の向上について継続的に検討し、改善していきます。			
Web-OPACの利用促進	Web-OPACの使い方について講座を開くなど、より多くの人に利用してもらえるような活動を行います。	継続的な利用促進を行います。 Web-OPACを図書館で実際に使ってもらう実践講座を定期的 to開催します			

(3) デジタルアーカイブ

主な取組み	取組の内容	今後取り組むこと	旧サービス 評価指標	指標	目標値（R10）
資料のデジタル化	図書館が所有する吉植庄亮のコレクションをデジタル化します。	今後デジタル化する資料に関する基準など運用について検討します。 資料をデジタル化できる技術を持った職員の育成や専門業者への資料のデジタル化の委託などを検討します。 関係機関と情報共有しながら、充実した資料提供を目指します。 吉植庄亮のコレクション以外の著作のデジタル化も継続して検討します。			

基本方針2 子どもたちの未来を育み可能性を広げる図書館

1 子どもの年齢に応じた取組の推進

(1) 乳幼児と保護者

主な取組み	取組の内容	今後取り組むこと	旧サービス 評価指標	指標	目標値（R10）
おはなし会などの実施	「おはなし会」を実施します。 「おうちでおはなしかい」（おすすめ絵本や紙芝居のセットの貸し出し）を実施します。	おはなし会などの事業を継続して実施します。 おすすめ絵本や紙芝居のセット内容の充実を図るとともに、サービスの周知を推進し、利用実績を増やします。 すべての図書館で同様のサービス、またはそれに準じた機会を提供できるように取り組みます。	区分6		

ブックリストの作成	「えほんのくに」などのブックリストを作成します。	幅広いテーマのブックリストを作成します。 子どもたちが新しい本に出合えるよう内容の充実を図ります。 将来の図書館DXの推進に合わせたブックリストのビジュアル化を検討します。	区分2	
職員のスキルアップ	子どもの発達段階に対応したサービスの向上や基本から専門までの知識・技能を習得します。 研修への参加を促進します。	子どもや保護者に対して充実したサービスを提供するため、研修への積極的な参加を促すなど、職員のスキルアップを図ります。	区分6 区分8	

（2）児童生徒

主な取組み	取組の内容	今後取り組むこと	旧サービス 評価指標	指標	目標値（R10）
事業の実施	「スタンプラリー」「図書館探検隊」「科学あそび」などの様々な事業を実施します。	現在実施している事業を整理し新たな事業の企画・実施を図ります。	区分6	児童対象事業数	40事業/年
児童書展示コーナーの充実	各図書館で児童書の展示コーナーを設け、定期的にテーマを設定し児童書の紹介を行います。	子どもの読書活動を推進するため、展示内容の充実を図ります。	区分6		
ブックリストの作成 （小中学生向け）	小学生向けに「ほんのタネ」、中学生向けに「Book de Go!」のブックリストを作成・配布します。	小中学生の読書活動を推進するため、対象年齢に応じたブックリストの内容の充実を図ります。 将来の図書館のDXの推進に合わせたブックリストのビジュアル化を検討します。	区分2		
学校の読書活動支援	団体貸出やスクール便などを活用し、学校の読書活動の支援を行います。	スクール便の内容の充実を図り利用を促進します。 学校への団体貸出に対応するため、学習支援に適した資料を積極的に収集します。	区分5		
学校教育との連携強化	図書館職員と学校図書館関係者との連携強化を図ります。 小中学校の職業体験の積極的な受け入れに努めます。	各図書館においてエリアごとに近隣学校との交流を推進します。 小中学校の職業体験を積極的に受け入れます。	区分5		

（3）ヤングアダルト（青少年）

主な取組み	取組の内容	今後取り組むこと	旧サービス 評価指標	指標	目標値（R10）
ヤングアダルト（青少年）への読書支援	各図書館でヤングアダルト（青少年）向けの資料を集めたコーナーを作り利用促進に努めます。 ヤングアダルト（青少年）向けのブックリストを作成し、市内学校などへの配布、図書館ホームページで公開を行い、読書支援を行います。	ヤングアダルト（青少年）向けの資料の充実を図ります。 ヤングアダルト（青少年）対象のブックリストを作成し、利用促進を図ります。 各図書館でヤングアダルト（青少年）コーナーの設置を推進します。			

2 子どもの読書活動の推進

（1）読書活動を深める機会の提供

主な取組み	取組の内容	今後取り組むこと	旧サービス 評価指標	指標	目標値（R10）
家庭における読書活動の推進	ブックスタート事業や母子健康手帳交付時に絵本のリストの配布を行います。	担当課と連携しブックスタート事業を継続します。 ブックスタート事業については、関係各課がそれぞれの経験や情報を活用し、相互の事業の向上を図ります。	区分5		

図書館での読書活動の推進	資料の収集・保存・読書案内を実施します。 おはなし会や展示などによる本の紹介を行います。 図書館探検隊など図書館業務体験の充実を図ります。 市内小中学生の施設見学や職業体験の受入れを行います。	子どもの年齢・発達・興味・関心を踏まえた資料収集を行い、おはなし会などの事業や読書案内の充実に努めます。 図書館を身近なものに感じてもらえるように施設見学や体験の機会を増やし、職業体験の受入れも積極的に行っていきます。	区分 5 区分 6	児童資料受入点数 児童資料貸出点数	3,600点/年 350,000点/年
関連施設での読書滑動の推進	子育て支援センター・保育園などと連携を図り、絵本や紙芝居の団体貸出のほか、読み聞かせ講座などを行います。	読書相談や読書案内ができるよう図書館職員のスキルアップを図り、各施設への読書支援を行います。 円滑な運営に必要な図書館職員数の確保に努めます。	区分 6		

（２）読書環境の整備

主な取組み	取組の内容	今後取り組むこと	旧サービス 評価指標	指標	目標値（Ｒ１０）
図書館資料の整備と活用の充実	読書相談における助言や情報提供の充実を図ります。 外国語資料を含む図書資料の計画的な選定と購入を進め、蔵書の充実を図ります。 出前講座「読んであげよう！」「本の修理講習」の実施及び講師派遣を行います。	出前講座の講義内容の見直しや充実を図り、依頼に応えられるような体制を整えます。 幅広い分野の情報提供ができるよう、買い替えも含め適切な資料収集を推進し、図書館資料の充実に努めます。 市内で生活する子どもへの外国語資料も充実を図ります。	区分 5 区分 6		
学校教育との連携強化	図書館職員と学校図書館担当者などとの連携強化を図ります。 小中学校の職業体験の積極的な受け入れに努めます。	各図書館においてエリアごとに近隣学校との交流を推進します。 小中学校の職業体験を積極的に受け入れます。 学校図書館担当者などとの連携を強化します。	区分 5		
ボランティアとの連携協力	読書ボランティアなどと連携・協力体制をつくり、子どもの読書活動を支える体制を整えます。	地域で活動している読書ボランティア、関連施設との情報交換の場を設けるなど、連携・協力体制の充実を図ります。 図書館が地域と子育て世代をつなげる場のひとつとなるよう、読書ボランティアなどの意欲やアイデアが十分に発揮できる環境を整備します。	区分 6 区分 8	ボランティアとの 連携事業数	15事業/年

（３）情報の普及・啓発

主な取組み	取組の内容	今後取り組むこと	旧サービス 評価指標	指標	目標値（Ｒ１０）
主催事業やブックリストなどの子どもの読書活動事業の周知	「としょかんつうしん」やブックリスト「えほんのくに（幼児）」「ほんのタネ（小学生）」「 B o o k d e G o ! （中学生・高校生）」を発行し読書活動を推進します。	発行物については、印刷物以外の媒体による公開の検討を行い、ＳＮＳなどの活用を含めた情報発信を図ります。 情報発信の手法は定期的に見直しを行い、その時代に合った手段で、対象者に効果的に発信できるように努めます。	区分 2		
関連施設との連携協力による広報	学校図書館担当者会議での情報交換を行います。 ブックスタート事業へ参加します。	学校図書館担当者会議での情報共有を通じて図書館活動への理解を深めてもらい、学校との連携強化を図ります。 ブックスタート事業では現場の情報を積極的に収集し、図書館事業との相互発展を図ります。	区分 5		

基本方針3 市民のくらし、地域の拠点となる図書館

1 市民との連携 図書館活動への参加

(1) 図書館ボランティア活動の推進

主な取組み	取組の内容	今後取り組むこと	旧サービス 評価指標	指標	目標値（R10）
図書館ボランティアとの連携・支援・育成	図書館ボランティアと連携した講座・事業を実施します。 ボランティアの育成及び活動の場を提供します。	より充実した内容の講座・事業を実施するため、図書館ボランティアとの連携を強化します。 図書館ボランティアを対象とした研修などを定期的実施し、習得した技術を生かすための場を設けます。 「図書館ボランティア受入実施要領」やマニュアルの見直しを行います。	区分8	ボランティアとの 連携事業数	15事業/年

(2) 市民団体との連携

主な取組み	取組の内容	今後取り組むこと	旧サービス 評価指標	指標	目標値（R10）
読書会や文庫などへの資料の提供	団体の要望に応じた図書館資料の貸出を行います。資料によっては市外の自治体の図書館から資料の取り寄せを行います。	要望に応じられるよう資料の充実を図ります。	区分5		
事業の協力	おはなし会などの図書館事業へ市民団体に協力・参加していただきます。	継続して団体と協働し、図書館を身近に感じられるような新たな読書活動推進事業の充実を図ります。 活動を支援し、広く紹介していきます。	区分6		

2 関係機関との連携

(1) 行政部署や関係機関との連携

主な取組み	取組の内容	今後取り組むこと	旧サービス 評価指標	指標	目標値（R10）
行政機関などとの連携	資料の提供や事業の連携を図ります。	より活用してもらえるよう行政機関へ図書館利用推進を図ります。 共催事業の実施により協力関係の充実を図ります。 様々な依頼に応えられるような資料の充実を図ります。	区分4		

基本方針4 住みよさを実感できる図書館

1 市民の居場所としての環境の充実

(1) 施設設備の維持管理

主な取組み	取組の内容	今後取り組むこと	旧サービス 評価指標	指標	目標値（R10）
適切な施設設備の維持管理	利用者が安全・安心に図書館を利用できるよう、計画的に適切な施設設備の維持管理に努めます。	施設の老朽化などによる不具合の解消に努めます。 省資源・省エネルギーを念頭に置いて施設設備の維持管理に努めます。 回収時において、書庫などバックヤードのスペースをの増設を検討します。			
新規施設の整備検討	人口の変化及び年齢構成に対応した図書館サービスを提供できるよう新規施設の整備の検討を行います。	印西市公共施設整備基本方針に基づき、適切に図書館サービスを提供できるよう、施設の統廃合、集約化、複合化を含めた新規施設の整備を検討します。 資料を保存する書庫の確保、施設のバリアフリー化、集会室や会議室、学習スペースや集いのスペース、駐車場の確保なども念頭に置いた検討を行います。	区分9		

（２）快適な環境の提供

主な取組み	取組の内容	今後取り組むこと	旧サービス 評価指標	指標	目標値（Ｒ１０）
閲覧席の設置	利用者の館内での図書館資料の閲覧に対応するため各図書館に閲覧席を設置します。	閲覧席の配置を工夫し、増設を検討します。 各図書館でレイアウト替えを行い、利用者のニーズに合った閲覧席を確保します。			
館内での資料閲覧への対応	利用者へのインターネット閲覧環境の拡充を図ります、	新聞などの有料データベースの導入を進めます。 図書館のインターネット支援サービスの環境を整えます。 各図書館のフリーＷｉ－Ｆｉ環境の整備を進めます。			
利用者ニーズに応じた図書館の開館時間	大森図書館及び小倉台図書館では、毎週水曜日１９時まで開館時間の延長及び祝日開館を行っています。	開館時間及び開館日数の設定について、地域の実情や市民の生活時間などを考慮して検討を図ります。	区分９		

２ 専門職員の充実と育成

（１）継続的な司書の確保及び職員配置

主な取組み	取組の内容	今後取り組むこと	旧サービス 評価指標	指標	目標値（Ｒ１０）
司書資格者の確保	司書資格を有する職員の確保に努めます。	現職員の年齢などを考慮した計画的な人的配置を検討し、司書資格を有する正規職員の確保に努めます。 司書資格を有する職員の各図書館への配置に努めます。	区分９		
職員配置の充実	適正な人員を配置します。 任期付職員及び会計年度任用職員の採用を行います。	充実した図書館サービスを達成するために適正な配置に努めます。	区分９		

（２）職員の資質・能力の向上

主な取組み	取組の内容	今後取り組むこと	旧サービス 評価指標	指標	目標値（Ｒ１０）
職員の能力向上	県立図書館や県公共図書館協会や行政などが主催する実践的研修への積極的な参加を促進します。 課題解決に向けた自主研修を励行します。 研修で得た情報を職員間で共有します。	職員の資質向上のために積極的な研修への参加を促進します。 遠隔研修への参加を促進します。 職員の自主研修を励行します。 研修内容を職員間で情報共有するため研修の機会をつくります。	区分８	職員研究等の充実	20回/年